



イチモンジカメノコハムシ
Thlaspidia cribrata



・調査日：2026年2月22日 9:30~11:45
・天気：晴れ ・気温：23℃

カラスアゲハじゃないか！？^{とおす} 通り過ぎたチョウ^{おえんないある}を追いかけて、園内あちこちを歩きました。ぽかぽか^{よつき}陽気でしたが、トンボなどの姿は少なめ^{すかたすく}でした。

隊員のいきもの調査日誌

隊員：島袋陽

ぼくは、イチモンジカメノコハムシをつかまえました。つかまえるのに苦^{くろう}勞して、十回くらいしっばい^{じゅうがい}つかまえました。まわりにきいろいのがついててユーフォー^{じゅうがい}みたいで、どうしてきいろいのが、あるんだろうとおもいました。



イチモンジカメノコハムシ
Thlaspidia cribrata
ハムシ科



いきもの調査隊 ってなーに？

研究者と一緒に、沖縄こどもの国に生息する様々な野生動物・植物を調査し、標本や図鑑を作成します。作成した標本や図鑑はこどもの国にて展示し、いろんな人に沖縄の身近な自然について知ってもらおうボランティア活動です。



さとう先生、
植物 ありんくりん

佐藤 寛之 理学博士
さとう先生が教える、
植物のあれこれ♪



せっかいがんち あらわ きせつ あじ
石灰岩地に現れる季節の味

Allium macrostemon ノビル

ひあ せっかいがんち じめん ほそ いとじょうは たくきんで 日当たりのいい石灰岩地の地面に細い糸状の葉が沢山出てきています。引っこ抜くと小さなタマネギのようにも見えます。この草はノビルというネギの仲間です。数本引きちぎって口に入ると強烈なネギの風味が口いっぱい広がります。春を感じる野外の味、試してみてください。



とね先生、今月のイチむし

とね先生がイチオシの虫を紹介するコーナー♪
刀禰 浩一 沖縄市立郷土博物館学芸員



ヤブニッケイエダコブフシ

ライオンズ・サクラ^{とおのほき}通りを登り切ったところにあるヤブニッケイの木を見上げると、枝にこぶがたくさんあることに気がきました。これはタマバエの^いしゅ^いの幼虫が木に作用する物質を出して作らせたもので、中には数十個の部屋があり、各部屋に幼虫が1匹ずつ暮らしています。成虫は3月ごろに羽化するようで、よく見るとこぶに成虫が脱出するときにあけた穴があります。このように昆虫などの作用で植物が変形してできる袋やこぶを虫えい（むしこぶ・ふし）といい、ハエだけでなくハチやアブラムシ、ダニなど様々な生きものが作ります。虫えいにもそれぞれ名前がつけられており、今回見つけたものはヤブニッケイエダコブフシというようです。